



社会奉仕に尽力された方を表彰 阿蘇ロータリークラブ



受賞を喜ぶ岩下さん（下段左）、山口さん（中央）
笹原さん（右）とロータリークラブの皆さん。

地域での社会奉仕活動などを積極的に行っている阿蘇ロータリークラブ（西本友春会長）は6月22日、地域や職場での奉仕活動など献身的に尽力されているとして岩下宗則さん（西2区）に社会奉仕賞、山口リツ子さん（永草）、笹原通子さん（下東下原）、に職業奉仕賞をそれぞれ授与しました。

同クラブでは毎年、奉仕活動などに取り組む方に対しこのような表彰を行っているほか、クラブ自身も地域の清掃活動やボランティア活動、勉強会など行い、社会奉仕の理念を掲げ日々積極的に活動されています。

地元あげて「跡ヶ瀬菅原神社」落成式



老朽化により建て替えが進められていた跡ヶ瀬菅原神社の工事が無事完了し、5月29日、地元あげての落成式が行われました。

歴史ある跡ヶ瀬菅原神社は、祭りや初詣にと地元の人たちに親しまれ、毎月交代で掃除をして大切にされています。しかし老朽化による破損が心配され、地元で建て替え計画が進行。塚本時正氏子総代や上島博喜区長はじめ地元の方々が協力され、無事、立派な神社拝殿が完成しました。奥の神殿は、歴史ある貴重な造りであるため改修のみが施されました。

ご神木が見事な神社です。また、近くに広い湧水公園もありますので、地域散策にぜひご利用ください。

阿蘇で採れたお茶を被災地へ 内牧小学校でお茶摘み



6月1日、お茶摘みを通して勤労と生産を体験し喜びを分かち合い、保護者や地域の皆さんとの交流を深めようと、湯浦の茶畑で内牧小学校の児童と保護者、老人クラブなど約450名が参加し、お茶摘みが行われました。この催しは毎年行われており、今年は東日本大震災で被災した方々に、阿蘇で採れたお茶を味わってもらおうと企画されました。児童は保護者らと一緒に、被災者への想いをはせながら、一枚一枚丁寧にお茶を摘みました。

収穫された約600キロの茶葉は、製茶にして小分けにし、児童がそれぞれ被災者へのメッセージを添えて阿蘇市を通じて被災地へ贈りました。

波野の旬の野菜を使った料理 家庭料理レストラン オープン



波野で採れた旬の野菜などを使った家庭料理を提供する「旬菜家庭料理レストラン」が6月12日、なみの高原やすらぎ交流館にオープンしました。

この日の料理はキャベツメンチカツや煮しめなど、どれも一品一品愛情を込めて作られたものばかり。皆口をそろえて「大変おいしい」と舌鼓を打っていました。当日はあいにくの雨にも関わらず、母の味を求めて多くの来客者が訪れ、中には玉東町から来られた夫婦もいるなど大盛況でした。

レストランは8月を除く毎月第2日曜日に限り開店し、30食限定で提供しています。ぜひ母の味を味わいませんか。事前予約はやすらぎ交流館 ☎23-0555まで。